



各 位

NPO 放送批評懇談会 (担当 : 中島 / 福島)

Tel. 03-5379-5521 Fax. 03-5379-5510

ホームページ <https://www.houkon.jp/>

発表!! 第二弾 第 58 回ギャラクシー賞

志賀信夫賞

フロンティア賞

マイベストTV賞グランプリ

平素は放送批評懇談会にご理解とご支援をいただきありがとうございます。

テレビ、ラジオ、CMの作品、制作者、関係者に贈る賞として 58 年の歴史を誇る「ギャラクシー賞」。

4 月 30 日のリリース第一弾に続き、第二弾として、志賀信夫賞、フロンティア賞 (テレビ部門)、マイベストTV賞グランプリを発表いたします。貴誌 / 紙、貴メディアでのお取り扱いをお願いいたします。

贈賞式は、6 月 2 日 (水) に開催予定です。

新型コロナウイルス感染症の影響により、無観客で執り行い、放送批評懇談会 YouTube 公式チャンネルでライブ配信を行います。

6 月 2 日の贈賞式ライブ配信も広くお知らせいただければ幸いです。

第 58 回ギャラクシー賞贈賞式 YouTube ライブ配信

日時 : 6 月 2 日 (水) 午後 3 時 ~ 5 時 15 分 (15:00-17:15)

放送批評懇談会 YouTube 公式チャンネル

<https://www.youtube.com/HOUKONchannel>



新型コロナウイルスの感染状況によっては、贈賞式を延期または中止する場合があります。ご了承ください。



放送批評懇談会 第 12 回志賀信夫賞

和崎信哉 株式会社WOWOW 相談役

志賀信夫賞選考委員会 [委員長] 音 好宏 [選考委員] 川喜田 尚 藤田真文 出田幸彦 丹羽美之

「志賀信夫賞」は、当会創設メンバーである志賀信夫の長年にわたる放送批評活動の功績を記念して創設されました。番組制作に留まらず、放送局やプロダクションの経営、業界の新たな仕組み作りなど幅広い業績を対象に、広く放送文化、放送事業の発展に顕著な貢献をした個人を顕彰することが目的です。慎重かつ多角的な討議を重ねた結果、第 12 回志賀信夫賞に和崎信哉氏を選出しました。

<選評>

和崎信哉さんは、デジタル化による放送業界の大変革期に、12 年間にわたって WOWOW の社長、会長として有料衛星放送事業の新しいビジネスモデルを展開し、公共放送 NHK や地上波民放とは一線を画すあらたな放送文化を確立しました。

NHK 時代は長年ディレクター、プロデューサーとしてドキュメンタリーの制作畑を歩み、その後は NHK 経営の中核として、ハイビジョンや BS デジタル放送の普及推進をリードしてきました。2006 年に WOWOW のトップに就任して以来、一貫してコンテンツ主義を掲げ、上質なドラマシリーズなどオリジナルコンテンツの強化を打ち出しました。さらにフルハイビジョン 3 チャンネルの開始やオンデマンド配信の提供など新しいサービスを次々に投入、伸び悩んでいた加入者数を純増させ、安定経営を実現しました。

2010 年からは衛星放送協会の会長も務め、新たな表彰制度を創設して衛星放送事業者のコンテンツ充実を図る一方、ハイビジョン化や 4K 放送の実用化などに尽力しました。日本の衛星放送業界の発展や有料放送市場の活性化に大きく寄与された功績は特筆に値します。

<和崎信哉プロフィール>

わさき・のぶや 1944 年京都市生まれ。68 年京都大学教育学部卒業、日本放送協会入局。番組制作局社会教養部チーフ・プロデューサー、編成局チーフ・プロデューサー、番組制作局生活情報番組部部長、衛星放送局ハイビジョン部長、総合企画室 [デジタル放送推進] 局長を経て、2003 年理事。06 年 WOWOW 代表取締役会長、07 年同社代表取締役社長、15 年代表取締役会長、18 年取締役相談役、19 年から相談役。10～18 年衛星放送協会会長。NHK 時代の作品に NHK 特集「行～比叡山・千日回峰～」 「シルクロード」、NHK スペシャル「化学兵器」など。2019 年春の褒章で藍綬褒章を受章。

■志賀信夫賞過去の受賞者／敬称略、肩書は当時

第 1 回 澤田隆治 (日本映像事業協会会長)、第 2 回 後藤亘 (エフエム東京取締役相談役、東京メトロポリタンテレビジョン代表取締役会長)、第 3 回 植村伴次郎 (東北新社最高顧問)、第 4 回 藤田潔 (ビデオプロモーション名誉会長) / TBS 『調査情報』、第 5 回 石井ふく子 (テレビプロデューサー)、第 6 回 松尾羊一 (放送評論家)、第 7 回 山本雅弘 (毎日放送最高顧問)、第 8 回 西村泰重 (J:COM 初代社長)、第 9 回 川端和治 (弁護士、BPO 放送倫理検証委員会前委員長)、第 10 回 今野勉 (テレビマンユニオン最高顧問)、第 11 回 樋泉実 (北海道大学客員教授・電通総研フェロー・北海道テレビ相談役)



第 58 回ギャラクシー賞 テレビ部門

委員長 古川柳子

副委員長 桧山珠美

委員 石田研一 梅田恵子 永 麻理 太田省一 岡室美奈子 桶田 敦 加藤久仁 兼高聖雄 戸田桂太
戸部田誠 藤田真文 細井尚子

テレビ部門フロンティア賞

光秀のスマホ

日本放送協会

「戦国時代にスマホがあったら」という奇抜な着想をもとに本能寺の変に至るプロセスを描いた、今までにないエンターテインメント作品です。そこには私たちと変わらぬ『人間・明智光秀』が浮かび上がると同時に、SNS に振り回される現代人への批評性も感じられました。山田孝之演じる光秀は声のみの登場で、終始、スマホの画面しか映らない演出も斬新でした。多彩な小ネタ、SNS への展開など、新しいテレビの可能性を拡げてくれました。



テレビ マイベストTV賞グランプリ

マイベストTV賞 第15回グランプリ

木ドラ 25 「30歳まで童貞だと魔法使いになれるらしい」

テレビ東京

視聴者の評価、満足や感動の気持ちを、投票によって形にしたマイベストTV賞。第15回のグランプリに輝いたのは、テレビ東京の木ドラ25「30歳まで童貞だと魔法使いになれるらしい」。心が読めるようになった主人公と、彼に思いを寄せる同期の男性。ふたりの心の機微を丁寧に描き、ジェンダーを超えた普遍的な愛の物語になりました。そして、人々の心が疲弊しているコロナ禍で、お互いを思いやるふたりの優しさに、多くの視聴者が癒されました。投票では「どんな生き方も否定しない、今だからこそ見たい優しいドラマ」「見終わって、心から人を好きになりたいと思えるドラマ」「忘れていた 胸の高鳴り」を思い出させてくれたドラマ」という視聴者の賞賛の声が数多く寄せられました。

解説

マイベストTV賞に参加した「オンライン会員Gメンバー」は、2021年5月10日現在で583名。これに放送批評懇談会の正会員197名が加わった計780名がグランプリ作品の投票にあたった。

グランプリは、2020年4月度から2021年3月度まで投票によって毎月決められたノミネート作38本の中から、最大5本までを投票するという方法で決められた。

285票を獲得しグランプリに選ばれたのは、テレビ東京の木ドラ25「30歳まで童貞だと魔法使いになれるらしい」。“人と人との繋がりの大切さが表現されており、優しい世界観が素晴らしかった” “BLというジャンルでありながら、誰もが楽しめる素敵な作品” “コロナ禍の鬱々とした毎日を救ってくれたドラマ”といったコメントが寄せられ、投票者の幅広い支持を集めた。

第2位はフジテレビの「世界は3で出来ている」。“未だコロナ禍から抜け出せない今だからこそ、より多くの方に見てほしい作品” “3人とも違う人間に見える林遣都の凄さを感じた”など、題材や演技に対する支持を多く集めた。

第3位はTBSテレビの金曜ドラマ「俺の家の話」。“介護や跡取りの問題を、コメディタッチながら長瀬（智也）さんの誠実さで真っ直ぐに捉えることができた” “話の内容に抜け目がない。今、笑っていたと思ったらもう泣かされている”など、演技や脚本に対しての評価が高かった。

今期はベスト10のすべてをドラマが占めた。中でも、コロナ禍でも優しい気持ちになれた上位2作品が多く票を集め、時代をより反映する結果になった。

なお、次年度も同様の方式によって年間のグランプリを決定する。



最終投票結果

第1位	木ドラ25「30歳まで童貞だと魔法使いになれるらしい」(テレビ東京)	285票
第2位	世界は3で出来ている(フジテレビ)	247票
第3位	金曜ドラマ「俺の家の話」(TBSテレビ)	153票
第4位	金曜ドラマ「MIU404」(TBSテレビ)	118票
第5位	よるドラ「ここは今から倫理です。」(NHK)	107票
第6位	日曜劇場「天国と地獄～サイコな2人～」(TBSテレビ)	88票
第6位	日曜劇場「半沢直樹」(TBSテレビ)	88票
第8位	オトナの土ドラ「その女、ジルバ」(東海テレビ)	81票
第9位	姉ちゃんの恋人(関西テレビ)	67票
第10位	連続テレビ小説「エール」(NHK)	55票

参考

★どんな賞？

「マイベストTV賞」は、放送批評懇談会がNPO(特定非営利活動法人)になったことを節目として創設されました。

視聴者はどんな番組を評価し、どんな番組を愛好しているのでしょうか。視聴者の「よかった」「素晴らしかった」「面白かった」「感動した」といった推奨の声を形にしたい、視聴者の気持ちを放送局や制作者に届けたい——そんな思いから生まれたのが、「マイベストTV賞」です。

★賞の本数、対象年度、賞の仕組み

マイベストTV賞グランプリ 1本

年度(4月～翌年3月) ごとの日本国内で放送されたテレビ番組が対象

審査員は放送批評懇談会正会員とオンライン会員Gメンバー。選出は放送批評懇談会の会員サイトの投票で行う。毎月の候補番組は放送批評懇談会で制定。会員は毎月1回、候補番組の中から5本まで選んで投票。得票の多かった3本が月間ノミネート番組に選出される(投票の経過・結果はWebで発表)。1年間に選出された月間ノミネート番組から、年間のベスト番組5本を選んで投票。もっとも多くの支持を獲得した番組1本が、<マイベストTV賞グランプリ>に選出される。

★オンライン会員Gメンバーとは？

「放送批評懇談会 オンライン会員Gメンバー」(以下「Gメンバー」)は、放送批評懇談会の活動に参加する「準会員制度」として、2016年5月にスタートした。会費は年額1000円。

Gメンバーは「マイベストTV賞」選出に参加し、番組への意見や感想を、テレビ・ラジオの制作者に発信する。



ギャラクシー賞の概要

◆歴史および概要◆

1963年、放送草創期のこの時期に、テレビとラジオの可能性、影響力に着目し、その発展には必ず“批評”の力が必要であると考えた評論家、研究者、ジャーナリスト、作家らの有志によって創設された放送批評懇談会。ギャラクシー賞は、志ある番組を掘り起こし、制作者たちの番組作りへの情熱に光を当てて顕彰することで現場を鼓舞し、番組の向上・発展を促すことを目的に誕生した。民間の自主的意思を基盤として創設された放送賞の第一号である。表彰は年度単位。

「ギャラクシー」とは、天の川、銀河という訳のほか、佳人・才子の華やかな群れという意味を持つ。放送界にきらめく才能を表すのにふさわしいものとして、放送批評懇談会設立の核となった渋谷秀雄、内村直也、梅田晴夫そして初代のトロフィーをデザインしたガラス作家・岩田糸子らによって賞の名に選ばれた。ギャラクシー賞は第50回（2013年）を記念してトロフィーを一新。松永真デザインの「バードマン」が新しい賞のシンボルとなった。

◆賞の特徴◆

ギャラクシー賞設立時には、すでにいくつかの放送賞が存在したが、その多くは「コンクール用に盛装を凝らしたものを対象にした記念行事」（故・白井隆二）だった。白井らは、テレビやラジオが日常に根ざした媒体であることを強く意識し、年間を通じてテレビを視聴しラジオを聴いて番組を批評することを賞の大前提に掲げた。その志は現在まで貫かれ、放送批評懇談会正会員の自主的な視聴活動が賞の土台となっている。

テレビ部門では、審査を担当する選奨委員により月評会（毎月）が開催され、月間賞が選出されている。他部門も定例会を持ち番組・作品を論じ合う。これらの内容は毎月、月刊誌「GALAC／ぎゃらく」に掲載される。こうした活動により、“放送の現在に向き合う賞”として独自の地歩を固めている。

◆審査と表彰◆

時代性に優れ、ジャーナリスティックな感覚を持ちえていること、かつ作品として普遍的な力量を備えていることの二点が選考の柱。

放送批評懇談会正会員によって組織する選奨事業委員会が審査を担当。審査は、年2回（上期・下期）、エントリー作品を受け付けて行う。上期・下期で選出された作品を対象に年間の最終選考がおこなわれ、各賞を決定する。

表彰式は、毎年5月下旬～6月初旬に行われる。受賞者には、トロフィーと表彰状が授与される。



◆賞の内容◆

【テレビ部門】大賞 1、優秀賞 3、選奨 10、特別賞 1、個人賞 1、フロンティア賞 1

【ラジオ部門】大賞 1、優秀賞 3、選奨 4、個人賞またはDJパーソナリティ賞 1

【CM部門】大賞 1、優秀賞 3、選奨 9

【報道活動部門】大賞 1、優秀賞 2、選奨 3

【その他】志賀信夫賞 1、マイベストTV賞グランプリ 1

(上記のほか、周年には記念賞を設ける場合がある。)

<志賀信夫賞>

放送批評懇談会の発展に寄与した放送評論家・志賀信夫の功績をたたえるために、2009 年度（第 47 回）創設。広く放送界の発展、放送文化の向上に貢献した人物等を表彰する。放送批評懇談会正会員の推薦を元に選出する。

<マイベストTV賞>

視聴者の参加により選ばれるテレビ番組賞で、2007 年（第 44 回）創設。放送批評懇談会選奨事業委員会が候補番組を選定し、これを毎月、放送批評懇談会正会員と「Gメンバー」（視聴者によって構成される放送批評懇談会のオンライン会員）が投票して選出される。年間で最も得票を得たものが「マイベストTV賞グランプリ」として表彰される。

◆沿革◆

1963 年度（表彰は 1964 年）ギャラクシー賞誕生、第 1 回。

1989 年度 第 27 回、ラジオ部門独立。

1993 年度 第 31 回、ラジオ部門にDJパーソナリティ賞新設。

1995 年度 第 33 回、CM部門設立。

2002 年度 第 40 回、報道活動部門設立。

2006 年度 第 44 回、視聴者が選考に参加する「マイベストTV賞」を新設。

2009 年度 第 47 回、「志賀信夫賞」を新設。

2015 年度 第 53 回、テレビ部門にテレビの新しいチャレンジを応援する「フロンティア賞」を新設。

●放送批評懇談会について：1963 年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CM を顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行っています。

●過去の実賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース (<https://www.houkon.jp/galaxy-database/>)」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

以上

志賀信夫賞

和崎信哉

マイベストTV賞 第15回グランプリ

木ドラ25「30歳まで童貞だと魔法使いになれるらしい」

テレビ東京

テレビ部門

BS1スペシャル「デジタルハンター～謎のネット調査集団を追う～」

日本放送協会 NHKグローバルメディアサービス

テレビで会えない芸人

鹿児島テレビ放送

プロフェッショナル 仕事の流儀「餅ばあちゃんの物語」

日本放送協会

世界は3で出来ている

フジテレビジョン

BS1スペシャル「レバノンからのSOS～コロナ禍 追いつめられるシリア難民～」

日本放送協会 椿プロ NHKエデュケーショナル

新プライド～富山の仕事人～ #38「道路作業員 谷口純一（道路施設株式会社）」

ケーブルテレビ富山

金曜ドラマ「MIU404」

TBSテレビ TBSスパークル

NHKスペシャル「香港 激動の記録～市民と“自由”の行方～」

日本放送協会

浜の朝日の嘘つきどもと

福島中央テレビ

よりそい～静寂と生きる難聴医師 2020秋篇

CBCテレビ

逆転人生「貧困の連鎖を断て！ 西成高校の挑戦」

日本放送協会

NHKスペシャル「イナサ～風寄せる大地 16年の記録～」

日本放送協会

オトナの土ドラ「その女、ジルバ」

東海テレビ放送 テレバック

金曜ドラマ「俺の家の話」

TBSテレビ TBSスパークル

フロンティア賞

光秀のスマホ

日本放送協会

特別賞

日本電波ニュース社

22年間にわたり、中村哲医師の活動を記録し続け、多くのドキュメンタリー作品でその精神を伝えてきた功績に対して

個人賞

サンドウィッチマン

卓抜な芸人力で人々の気持ちと向き合い、笑いの力で人々を励まし、東北の「心の復興」に並走してきたことに対して

報道活動部門

シリーズ老障介護

朝日放送テレビ

「報道特集」40年の歩みとこれから

TBSテレビ

15秒のジャーナリズム 報道ドキュメンタリーCM10年のあゆみ

東海テレビ放送

ピンクリボン活動の18年（おっぱい2つとってみた その前と後）

北海道テレビ放送

映像20 映像シリーズ40年～関西発・真夜中のドキュメンタリズム～

毎日放送

シリーズひきこもり

山口朝日放送

●テレビ部門は上記ノミネート14本から、大賞1本、優秀賞3本、選奨10本が選出されます。●ラジオ部門は上記ノミネート8本から、大賞1本、優秀賞3本、選奨4本が選出されます。●CM部門は上記ノミネート13本から、大賞1本、優秀賞3本、選奨9本が選出されます。●報道活動部門は上記ノミネート6本から、大賞1本、優秀賞2本、選奨3本が選出されます。●最終選考の結果は、6月2日（水）開催「第58回ギャラクシー賞贈賞式」で発表、表彰されます。●テレビ、ラジオのノミネートは放送日順、CMは広告主企業名五十音順、報道活動は申込社（者）名五十音順に記載。●詳しい結果は6月5日（土）発売の「GALAC」2021年7月号に記載いたしますので、ご覧ください。

ラジオ部門

河原崎辰也いっしょにできないだろう！特別企画「地域を守れ！外国人とのリアルな暮らし特集」

CBCラジオ

南海放送報道特別番組「感染 ―正義とは何か―」

南海放送

SBSラジオギャラリー「ダンシングジャパン～リズムに乗ったら手を叩こう！～」

静岡放送

文化放送・戦後75年スペシャル「封印された真実～軍属ラジオ」

文化放送

TOKYO FM特別番組「Positive～コロナとホテルとラインチャット～」

エフエム東京

ラジオ×教育特番「笑顔で学ぶ！withコロナ」

エフエムひらかた

塀の中のラジオ～贖罪と更生 岡山刑務所から

RSK山陽放送

ココロ音ラジオ和音

ハートネットワーク

DJパーソナリティ賞

落合健太郎

「ROCK KIDS 802 -OCHIKEN Goes ON!!-」「Chillin'Sunday」(FM802) パーソナリティとして

CM部門

テレビCM

大塚製薬 カロリーメイト「見えないもの」

大塚製薬 博報堂 catch ENOAD AOI Pro.

大塚製薬 ポカリスエット「ポカリNEO合唱 2020（フル）篇」

大塚製薬 電通 なかよしデザイン スプーン

コーセー 医療従事者応援プロジェクト「You are my HERO」

コーセー 博報堂 AOI Pro. 博報堂プロダクツ

サントリーホールディングス CRAFT BOSS シリーズ 宇宙人ジョーンズ「顔合わせA」「顔合わせB」「農場」「銭湯」「稽古場A」「稽古場D」

サントリーホールディングス 連 ワンスカイ 電通 ギークビクチュアズ

全国都道府県及び20指定都市 年末ジャンボ2020 シリーズ ジャンボ兄ちゃん「良いこと報告会篇」「10億イメトレ篇」「書道篇」「ジャンボアンセム篇」

全国都道府県及び20指定都市 電通 TYO

東海テレビ放送 公共キャンペーン・スポット「この距離を忘れない。」

東海テレビ放送 電通 東海テレビプロダクション エンジンフィルム

トヨタ自動車 トヨタタイムズ「トヨタ生産方式 取材」

トヨタ自動車 電通 AOI Pro.

日清食品ホールディングス カップヌードル シーフード「ほぼイカ登場篇」

日清食品ホールディングス 電通 ソーダコミュニケーションズ

日本マクドナルド カフェラテ／ちょいマック ヤッキー／ちょいマック スパチキ／プレミアムローストコーヒー シリーズ「木村氏、どなたかと篇」「木村氏、後輩と篇」「木村氏、先輩と篇」「木村氏、お隣に篇」

日本マクドナルド TUGBOAT 電通 東北新社

プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン PANTENE「#PrideHair」

プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン GREY Tokyo TYO drive

ヤマトグループ 企業 シリーズ 未来より先に動け。「おばあさんと処方薬篇」「いつものカフェ篇」「新米パバ篇」

ヤマトグループ 電通 エンジンフィルム

ユニクロ Wジーンズ／Mジーンズ／きれいラ／プラトップ シリーズ LifeとWear「買い物 60秒」「買い物 30秒」「雨やどり」「走るクルマ」

ユニクロ 連 ワンスカイ catch WATCH トレードマーク ギークビクチュアズ

ラジオCM

大日本除虫菊 ゴキブリムエンダー なな子と光三郎シリーズ「出会い」「手紙」「急接近」「訪問」「プロポーズ」「エピソード」

大日本除虫菊 電通関西支社 ヒッツコーポレーション